

NPO法人

久喜の自然を愛する会

会報

NO32 2019年6月

会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 ^{いま} 現在 ある自然を次の世代に残そう

★★活動の記録（写真版）★★

★第15回NPO法人久喜の自然を愛する会総会

2019年4月6日(土)

ふれあいセンター久喜



記念撮影



総会風景



総会後の食事会



★キクイモ掘り

2018年12月9日(日)



このメンバーで掘りました

★忘年会

2018年12月22日(土) 三高サロン





記念撮影



お開き

★七草粥を食べる会

2019年1月6日(日) 太田集会所



食べる前に記念撮影



前日の七草採取



さーこれから作りましょう



トントントン



おいしい



ななくさナズナ唐土の鳥は…… (七草の歌)

★第14回久喜市の野草写真展 2019年3月1日(金)～7日(木)



市長ご来展



写真出展者

第2回野草の天ぷらを食べる会

2019年4月14日(日) 東公民館



前日の野草採取一大勢で沢山採取出来ました



天ぷらを揚げる前の野草観察



今年も多くの方が参加しました





食事風景

★ふれあいうオーク「中土手」

2019年4月29日(月)



記念撮影



タチツボスミレ



イタドリ



観察風景



皆さまお疲れ様でした



カントウタンポポ



ゲンゲ



トウダイグサ

★ふれあいウオーク「なんじゃもんじゃ」

2019年5月4日(土)



町田様邸での記念撮影



観察風景



★デンジソウ保護活動状況

2019年5月24日(金)



記念写真



除草後風景

★野草保護活動

4月6名

東側



4月6名

西側



5月8名



5月6名



★太田小ピオトープ活動状況



ピオトープ中心地



草取り風景



生息する昆虫

卷頭言

★★活動の記録★★

2018年末～2019年前半

★年間反省会・忘年会

2018年12月22日 13時～

宮川俊二

12月22日(土)「久喜の自然を愛する会の30年度活動反省会兼忘年会」を、初の会場でしたが、嶋田理事が幹事となり「沖ちゃん」で昼食をとりながらの会となりました。空輸便で届く新鮮魚介類が売り物の店が功を奏したのか、参加者29名と多数の会となりました。今年一番の人気行事は8月の赤城自然園へのバス散策でした。野草とのふれあいと共に、野草観察が大好きな仲間とのふれあいがもたらしたものと思いますが、笑顔一杯の楽しい旅でした。又、特筆する出来事は、7月のふれあいウオーク吉羽天神に梅田会員(現久喜市長)が参加し、その様子が久喜の生活情報誌「クッキーズ表紙・本文」に掲載されたことでした。会発足以来続けてきた活動が原動力となり表現されたものと思います。皆で懇親を深め来年への期待を膨らませ散会となりました。

★七草粥を食べる会

2019年1月6日 9時～

宮川俊治

1月6日(日)毎年恒例となっていますが、今年も太田集会所を会場に「七草粥を食べる会」を開催しました。この催しは「久喜の自然を愛する会」の活動の中でも最も関心の高い行事で、今回は広報「くき」を見ての初参加者を含め33名の参加者を数える賑わいとなりました。前日の5日、久喜の市内で会員12名の手で集めた「ゴギョウ・ハコベ・ナズナ・セリ・ホトケノザ」を参加氏者全員で粥材とするべく整理し、古くからの七草粥を作る作法に則り炊き上げるのでした。寒極まる季に逞しく育つ七草の精を、無病息災食を願いながら感謝し皆でいただきました。これからも大切な日本の文化として守り続けたいと思います。

最後に藤浪会長から、この催事は「久喜市社会福祉協議会の歳末たすけあい募金の助成」を受けていることを伝え閉会となりました。

★キクイモ植え付け

2019年3月10日(日)

昨年の12月9日にキクイモの収穫を行った際に行い、相当量のイモが途中で折れたりして掘りきれず土中に残っていたので、今回は少量の種芋を植えました。

追記

4月の野草保護で除草を行った時、沢山のキクイモが芽を出しているのが確認されました。

★久喜市の野草写真展

2019年3月1日～7日

松本春勇

「第14回久喜市の野草写真展」は3月1日(金)～3月7日(木)迄、中央公民館1階ロビーにて開催されました。総出展数65点で、絶滅危惧種11点、昨年の7月にバス観察旅行で行った群馬県の赤城自然園と覚満淵で撮影した野草11点が出展され、久喜市では見る事が出来ない野草が多数展示されました。

バス観察旅行で撮影し出展された野草はオオバギボウシ・キンシカラマツ・ギンパイソウ・ゴゼンタチバナ・トリアシショウマ・ノコンギク・マルバダケブキ・ヤナギラン・ヤブレガサ・レンゲショウマ・コオニユリでした。

3月1日の写真搬入時、埼東よみうりの取材を受け、3月15日号に記載されました。

《 関連記事 》

< 埼東よみうり 2019. 3. 15 >

★第15回NPO法人久喜の自然を愛する会総会と食事会

2019年4月6日 9時～

嶋田 実

第15回総会は、2019年4月6日（土）9時からふれあいセンターにおいて、開催されました。出席者は、48名（委任状出席者23名を含む）です。新入会員の板橋さんには早速総会に出席いただきました。

藤浪代表理事の挨拶の後、議題に沿って先ず平成30年度の事業報告、会計報告があり、監査報告書が了承されました。次に今年度の役員選出が諮られ、今までの8名の理事に加え新たに柏木三郎さん、羽賀道子さんの追加が了承され10名体制となりました。また、清野芳子さんには内規の監事として選任していただくこととなりました。この後、平成31年度（令和元年度）の活動計画と予算が承認され、最後に本年度の活動スケジュール等の報告がありスムーズな審議がなされ総会は無事終了となりました。

早坂さんからは、「例年夏に実施しているバス旅行について、時期的には春・秋が良い、交通手段はバスに限定しなくて、電車を使った見学会でも良いのでは」との有意義な意見がありました。

また、公務ご多忙の中、井上名誉会員にも出席いただき、デンジソウの保護について市議会において質問されたことのご報告がありました。

（食事会）

総会終了後、11時から徳寿庵において有志18名による食事会が行われました。

総会には公務多忙のため欠席でしたが、梅田市長（名誉顧問）には、短い時間でしたが会場に駆けつけていただき、当会への応援メッセージを賜るとともに、市政報告、会員との意見交換が行われ和やか

な食事会とすることができました。

★第2回野草のてんぷらを食べる会 2019年4月14日(日) 松本春勇

野草のてんぷらを食べる会は昨年からは始まり、今回は2回目です。前日、中土手でてんぷらの材料とする野草を採取した。12名の会員が参加し、たくさんの種類と量を採取できました。

参加者は会員21名、一般12名、合計33名です。ちなみに昨年は会員24名、一般14名(子供2名含む)、合計38名でした。

9時から、会員の方は材料の下ごしらえを行い、一般参加者は藤浪代表の解説による野草観察開始です。まず、東公民館前の道路脇で、オランダミミナグサ、ヨモギ、ノゲシ、ホトケノザを手にとりて観察。藤浪代表から、ホトケノザについての詳しい説明がありました。ここにあるホトケノザはシソ科で、七草粥で食べる「春の七草」のホトケノザとは全く違うものです。春の七草のホトケノザはコオニタビラコの事でキク科です。何冊かの本を見ましたが、七草粥のホトケノザの事を誤ってシソ科のホトケノザ写真を載せている本もありました。東公民館隣の空き地ではカントウタンポポとシロバナタンポポを見る事が出来、カントウタンポポとセイヨウタンポポの見分けかたの説明が有りました。

10時頃から一般参加の方々もてんぷら作りに合流です。皆さん楽しそうにてんぷらを揚げています。日頃てんぷらを揚げたことのない男性も頑張っています。昨年は調理室でてんぷらを頂きましたが、今年は会議室で食事をする事が出来ました。

11時30分頃には記念撮影を終え、食事開始です。クコの葉の炊き込みご飯は絶品でした。アルコールこそ有りませんが和気あいあいの元、楽しい食事となりました。

今年は食べきれないほどのてんぷらを揚げたので、全員が持ち帰ることが出来ました。今晚の酒の肴になります。

★ふれあいウオーク「中土手」 2019年4月29日(月) 宮川俊二

4月29日(月・祝)、史上最長の10連休と新元号が5月1日定まる直前の祭り気分旺盛な中での催しとなりました。参加者23名(内一般参加6名)は、快晴と絶好のウオーク日和も重なり和気藹々の観察会でした。藤浪会長が所要あり欠席でしたが、理事会員の木下さんの説明を受けながら「野草の観察」を行いました。40数種の野草の観察が出来ましたが、特に一般参加者からは草一般と見ていた「草」にもそれぞれに特徴を捉えた特色ある名前を学び驚きの声しきりでした。土手の保護草のヤブカンゾウやワレモコウに花は有りませんでした。スイバとギシギシやハルジオンとヒメジオンの見分け方等確認出来た様でした。又、食べられる野草にも興味を持たれる人が多く見られた様に思いました。尚、初の試みでしたが、足の便として斉藤理事が配車下さりスムーズに進められました。

★野草観察ふれあいウオーク「なんじゃもんじゃ」2019年5月4日

会田克之

本年5月に新元号が令和に改元され、令和元号下始めてのふれあいウオークが5月4日快適な気候の下で行われました。今回のテーマはなんじゃもんじゃの木を見ることとその道中を人とのふれあいを大切に野草観察することです。集合場所は幸手市北公民館、一般11名、会員22名計33名が集まり、会長の挨拶、資料の説明、コース説明後観察がスタートしました。なんじゃもんじゃはモクセイ科のヒトツバタゴ属に属し花弁は4つに深く裂け白糸を束ねたようで、白い雪に覆われたように見える木です。日

本では岐阜県東南部とそこに接する長野・愛知県の一部、対馬にだけ自生します。同じモクセイ科のトネリコ(複葉)に対し単葉であり一つ葉タゴと言われます。開花は5月で白い花はすぐに散ってしまいます。見学先の外国府間町田さんは40年ほど前明治神宮外苑から譲り受け育てたものが評判になり、見ごろになると県内他から人が訪れるようになったとの事です。

観察は幸手市北公民館から権現堂公園に入り、途中権現堂桜堤のフジバカマ自生地を下に見、中川堤より藤浪会長の説明がありました。独特の草姿のヘラオオバコ、ナガバギシギシ、青い花を咲かせたオオイヌノフグリ、スイバ、マメ科の植物に寄生するヤセウツボ等を観察、屋久島ヤギの放牧場では看板に餌を与えないで下さいとありましたが餌をねだられ、その先の観察ではハルジオン、一面に広がったコメツブツメクサ、カントウタンポポ、コマツヨイクサ、薄紅色のアカバナユウゲショウ、カタバミ、カラスのエンドウなどが見られた。この間会員同士で説明しあう姿も多々見られた。4号線近くではヤエムグラ、ノジヤなどを見て、4号線に架かる御幸橋を渡り、左折付近ではノゲシ、アカツメクサ等を観察。ここまで説明者への質問も多く全体的にゆっくりしたペースでの観察でした。住宅地に入ってからオニタビラコ、紅朱色がややあせたナガミヒナゲシ、コマツヨイクサ、忘れな草に似た青色のキュウリグサなどの説明受け、間もなく町田邸に到着。門内に入ると庭の正面に見事に白い雪を乗せたなんじゃもんじゃの木が見られた。初めにそのなんじゃもんじゃの木を背景に参加者全員で記念撮影して町田さんの説明の後、邸内の見学に回った。なんじゃもんじゃの木は他に十数本あり今を盛りに咲き誇っていました。シャガ、ウラシマソウ、トクサ他の野草もみられました。庭の正面には水琴窟があり、清らかな水音を楽しみました。

12時過ぎに町田邸を後に4号線沿いに歩きショカツサイ、アイリス、権現堂堤ではヘラオオバコ、オランダミミナグサ、カタバミ、アメリカフウロ等観察し、12時半近くに権現堂茶屋の裏にある広場の椅子に座り、一般会員と会員の数人が感想を述べ、和気あいあいの内、終了した。今回の感想は何とか野草の名前を覚えようと努力する姿がみえるようになったとの会長のコメントもあり又2名の当会への加入希望があり盛況に終わりました。

《当日の主な野草》

ヘラオオバコ、ナガバギシギシ、オオイヌノフグリ、スズメノカタビラ、アメリカフウロ、スイバ、ヤセウツボ、ハルジオン、コメツブツメクサ、ムラサキツメクサ、カラスムギ、カントウタンポポ、コマツヨイクサ、アカバナユウゲショウ、カタバミ、カラスノエンドウ、ヤエムグラ、ノジヤ、ノゲシ、オニタビラコ、ナガミヒナゲシ、ノミノツヅリ、アカメガシワ(木)、ナンジャモンジャ(木)、セイタカアワダチソウ、シロツメクサ、コマツヨイクサ、オッタチカタバミ、キュウリグサ、ハハコグサ、シャガ、ウラシマソウ、ムベ(木)ショカツサイ、トクサ、ショカツサイ、オランダミミナグサ

《当日出席者の主な感想》(文責松本)

望月美代子さん いりいろ勉強になった。

篠原さん やっとなんじゃもんじゃに来た。府中にもなんじゃもんじゃの並木がある。

石森昭男さん 60年生きてきた。なんじゃもんじゃは初めて見た。衝撃的で忘れられない。雄雌の木があり、不思議な木です。ヤセウツボには奥の深さを感じた。

中村さん 2回目です。野草は興味があつた。長須先生が3個覚えれば良いと行っていた。花が咲いていたときに来て良かった。

衣川さん なんじゃもんじゃ、あーゆー木とは思わなかった。今まで草花を注意して見たことが無かった。

滝本さん こんにちは、何しろ暑いですね。私は間違えて9時に来てしまった。こんなに暑いとは思わなかった。

会田さん 今後のふれあいウォークは5月19日の菖蒲で、森下公民館集合です。

★野草観察ふれあいウォーク「菖蒲」2019年5月19日

木下悦雄

天気予報は曇りでしたが予想外に晴れて熱中症が心配されるような陽気でした。参加者は19名。(会員16名、一般3名)

全員集合したので予定時間前にスタート。グラウンドの芝生が刈取られたばかりですがクローバーの白い花が広がって輝いていました。1番目は足元に咲いていたアカバナユウゲショウ。ムラサキサギゴケ、コメツブツメクサ、アメリカフウロと花々は元気です。ハルジオンやハハコグサはまだまだ咲いていますが、季節は夏にかわりつつあります。垣根にはラベンダーが咲き誇っていました。信号を渡ったところで白花のユウゲショウが見られました。用水の土手ではウマノスズクサ、センニンソウ、ノウルシ、ソクズ、オオカワヂシャ、クサノオウ。だいぶ駆除されたものの、オオフサモも茂っていました。神明神社に入る前ではシロバナタンポポ、コアカザ、ハナイバナを観察しました。

500mの参道を持つ神明神社の叢林は照葉樹のほか、イヌシデの大木など広葉樹もあって森を明るくしていました。樹木には適宜名札が取り付けられているのが嬉しいです。林下にはヤブタビラコ、オニタビラコ、ホウチャクソウ、ヒヨドリジョウゴ、ウラシマソウ、ビナンカズラ、サルトリイバラ、などが確認できました。

境内を出て、畑地ではコナスビの黄色い小花を見つけ、池ノ端ではキュウリグサを揉んで香りを確かめました。この辺はまだ水田に水が入っておらず、イネの苗が育てられている最中でした。

天王山塚古墳(6世紀後半ごろの前方後円墳)周縁では、ノニガナ、ヤブニンジン、エゴノキやガマズミの花も見られました。シラヤマギクは秋が楽しみです。久喜の市街地とはまた違った植相です。

今回は樹木も多く、マテバシイやクスの花もみることができました。樹木と野草が観察できる変化のあるコースですが、歩く距離が長いので最後は神明神社入口にある公園のあずまやで終了し、参加者に本日の感想を述べていただきました。

《 当日出席者の主な感想 》(文責会田)

山崎さん(一般) 地元です。野草には名前があることが分かった。これからは資料を見て名前を覚えたい。

矢部さん(一般) 地元です。野草にはたくさんの種類があるのにびっくりした。

(他の人から「道端450種」との声) ここは野草の宝庫だ。

藤田さん(一般) 今回の野草の会への参加は古墳を見て決めた。野草の名前は人の生活に密着して名前があるようだ。この渡来人が造った創造物を見て敬うような気持ちだ。関東はいろんな人が集まった国だと思った。

松本さん 今日には68種の野草があった。資料に書いているのが38種あった。会報にのせる。

追伸 精査したら70種ありました。

木下さん 9月に吉羽でふれあいウォークがあります。参加してください。

7月4日には会員限定ですが自然観察バス旅行があります。定員は25名先着順です。

《 当日観察出来た野草 》72種

アオカモジグサ・アオツズラフジ・アメリカフウロ・アレチギンギシ・イヌムギ・ウシハコベ・ウマノスズクサ・ウラシマソウ・オオイヌノフグリ・オオカワヂシャ・オオジシバリ・オオフサモ・オニウシノケグサ・オニタビラコ・オニノゲシ・オヤブジラミ・オランダミミナグサ・ガガイモ・カキドオシ・カタバミ・カモジグサ・カラスノエンドウ・カラスムギ・キツネアザミ・キュウリグサ・クサノオウ・クズ・グンバイナズナ・コアカザ・コウゾリナ・コナスビ・コメツブツメクサ・サルトリイバラ・シヨカツサイ・シラヤマギク・シロツメグサ・シロバナタンポポ・スズメノテッポウ・セイヨウタンポポ・センニンソウ・ソクズ・タチイヌノフグリ・チガヤ・チチコグサモドキ・ツボミオオバコ・ナガバギシギシ・ナガミヒナゲシ・ナズナ・ニガクサ・ニワゼキショウ・ノウルシ・ノゲシ・ノニガナ・ノボロギ

ク・ノミノツヅリ・ハコベ・ハナイバナ・ハハコグサ・ハルジオン・ヒヨドリジョウゴ・ヒルガオ・ビナンカズラ・ホウチャクソウ・ムラサキサギゴケ・メマツヨイグサ・ヤエムグラ・ヤブタバコ・ヤブニンジン・ヤブラン・ユウゲショウ・ヨウシュヤマゴボウ

★デンジソウ保護活動

2019年5月24日（金）

嶋田 実

今年、5月24日、7月12日及び11月8日の3日間、埼玉県希少野生動植物として指定されている、鷲宮宝泉池附近に自生するデンジソウを保護するため、雑草を除草する活動を行います。

5月24日は晴天のもと、会員7名の他、埼玉県と久喜市の職員各2名に加え、わしのみや自然保護ボランティア会の社会長も参加され、合計12名で長く伸びた葦の伐採を実施しました。

★太田小ビオトープ活動状況

柏木三郎

太田っ子ビオトープ再生活動を始めて早4年目になり野生生物が戻ってきました。

○ ビオトープ内で飛来するのを観察できたものは次の通りでした。

アオスジアゲハ・アゲハ・モンシロチョウ・クロスジギンヤンマ・ベニシジミチョウ・ハナアブ
サポータが用水路等で採取してきた物

ドジョウ・タニシ・カラスガイ・ヌマエビ・マツムシグマガエル・アマガエル・オタマジャクシ
ホーネンエビを池の中に放流しました。

以上の野生生物や植物を管理しております。

★野草保護活動

野草保護活動は東側と西側の2か所で4月から10月まで月の第4日曜日に行われている。

東側は吉羽地域内で、青毛堀と葛西用水が合流して古利根川になったところの右岸にある。対岸には昌平高校がある場所である。近くに吉羽天神があり毎月1回第4日曜日に、ここに集合して付近の野草を観察後に保護活動を行っている。この保護地では付近に生育している、絶滅危惧種等の希少植物を集めてミニ植物園的な形で保護活動を行っている。

西側は久喜菖蒲工業団地裏の中土手で主にヤブカンゾウを中心とした保護活動を行っている。

多くの方々の参加をお待ちしています。

○ 野草保護活動

宮川俊治

4月28日(日)西側について

今回は特別の日でした。草刈と共に行ったのは、10数年ぶりの「野草保護地の看板5枚の取付け」と区画をロープで囲む作業がありました。これに2時間、男性は会田さん嶋田さん宮川があたりました。この間を縫いながら女性会員の矢野さん、清水さん、平尾さん、芳賀さんが中心となり草刈を実施しました。(余談ですが、数日前に資材を購入し、専ら柏木理事の手による杭と看板の加工製作があつての事でした。)当日は都合3時間のはたらきでした。

★新入会員情報

51 岩崎美代子 52 中村登志子

以上2名が我々の仲間新たに加入されました。よろしくお願ひします。

現在会員数 52名

★今後の日程

放課後子供教室	2019年6月～2019年1月
会員限定自然観察旅行	7月4日(木) 群馬20世紀の森
ふれあいウオーク「吉羽天神」	9月8日(日) 9時30分
年間反省会(懇親会)	12月14日(土)
野草保護活動	東側 毎月第4日曜日 8時 吉羽天神集合 西側 毎月第4日曜日 8時 中土手
七草粥の会	2020年1月7日(火)
第15回「久喜市の野草写真展」	2020年3月1日～7日 久喜中央公民館

★編集後記

* 今年5月下旬から6月にかけて、5月とは思えない暑い日が続きました。5月26日に北海道網走地方の佐呂間で39.5度を記録し、北海道の観測史上初となる39度台となりました。気象庁のホームページを見るとその日、久喜市は34.1度となっており翌日も34.4度でした。ところが関東甲信地方が6月7日に梅雨入りした途端、梅雨寒となり、6月10日には1日の最高気温が16.9度と言う日もあり、非常に温暖の差が激しい日が繰り返され、体調を整えるのに苦労しました。

昨年は関東甲信地方が6月29日に梅雨明けしましたが、6月に梅雨明けしたのは初めてだそうです。6月26日、北九州地方から近畿地方にかけて梅雨入りました。このように梅雨入りが遅れたのは初めてだそうです。これらは地球温暖化の影響なのでしょうか。

会報32号は宮川と松本が編集しました。今後、皆様へ原稿のお願いいたしますので、よろしくお願ひ致します。

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO32

2019年6月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇